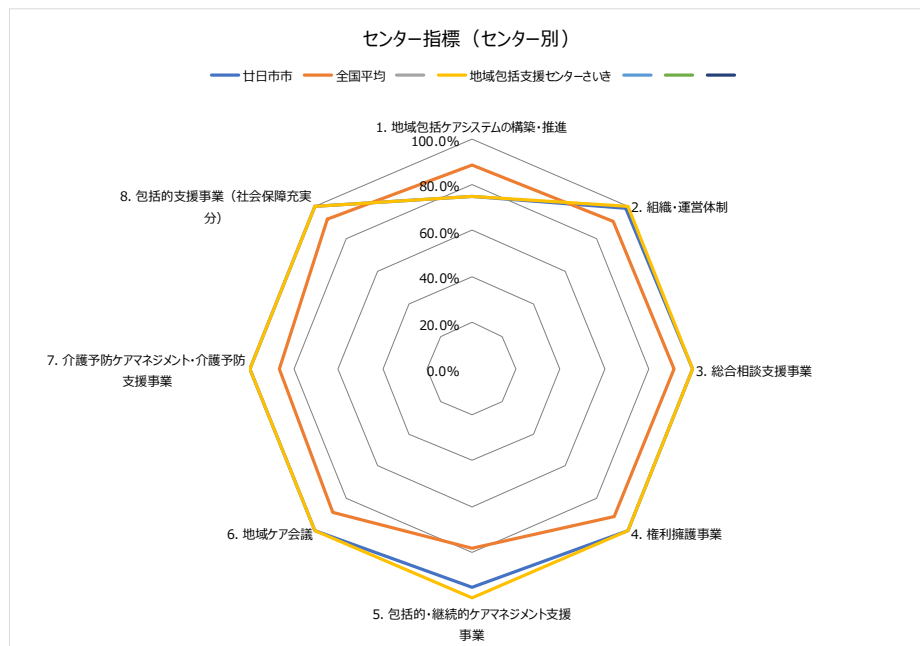


令和8年3月9日

図：地域包括支援センターさいきの取組状況（令和6年度）



1. センター：自センターの課題（機能強化すべき評価分野や活動目標）は何ですか？

サービス事業所・人材の不足もあり、利用できる社会資源が少ない。

中山間地域で、移動が難しく、受診が必要でも往診できる医師が少ない。

2. センター：自センターの課題はどのような背景から生じているのでしょうか？

中山間地域のため、面積も広く、沿岸部の市中心部からの距離もあり、サービス事業所・人材ともに不足しており、定着が難しい地域である。キーパーソン不在（遠方、疎遠、身寄りがない）の高齢者が多い。

3. センター：課題の解決に向けて活用できる自センターの強みは何でしょうか？

住民同士が比較的、気にかけて関係性が沿岸部に比べて残っており、圏域内にあるサービス事業所、医療機関、社会福祉協議会、支所内の担当部署等と連携が取りやすく顔の見える関係性ができている。

4. 課題の解決に向けた目標とそれを達成するための取組を考えましょう。

中山間地域で利用できる社会資源表のとりまとめや地域ケア会議の活用、小地域の単位で住民と地域の福祉課題を把握し、地域住民やSC等と取り組めそうなことを一緒に考える機会をつくる。